

学生のみなさんへ

学生会員とは本会の目的・趣旨に賛同し、有機合成化学または有機合成化学関連産業に関する学識経験を深めることを望む学生および大学院生です。

本会には次世代の学術、産業技術の担い手として毎年多くの学部生および大学院生が入会しています。

以下に本会本部事業における学生会員活躍の場を紹介しますが、各支部にも本部同様の機会が多数用意されています。

有機合成シンポジウム

6月に開催される有機合成シンポジウムは1件当たり20分程度の発表時間が設けられています。また11月のシンポジウムでは、口頭発表のテーマはポスターでもご発表いただいています。聴講者には学生、教員に加えて半数は企業の若手研究者であり、まさに産官学の枠を超えた人材との深い議論ができる、他の学会には見られない特徴を備えています。さらに、会期中に選ばれたポスター賞受賞者は、協会誌に研究概要が掲載されます。このように学生会員にとって、本シンポジウムで発表できることは非常に誉れの高いものとされています。

懇談会

近年、本会会員がノーベル賞をはじめとする国内外の多くの賞を受賞されています。このことから有機合成化学は日本のお家芸であることがわかります。このような受賞者を含め、第一線で活躍する産官学の研究者から学生会員を含む若い研究者へ貴重なお話をされる懇談会が多数開催されています。

学生の皆さんは、所属大学や自分の研究環境に閉じこもることなく、広い世界で様々な知識や経験を吸収すると共に、ご自分の研究を広い世界の研究者と議論していただきたいと思います。私たち有機合成化学協会は新たな企画も用意しながら、学生諸君の活躍の場を提供します。

入会手続

本会ホームページから必要事項をご記入の上お申し込み下さい。入会金は不要です。

「ホーム>会員>入会手続き」へお進み下さい。

年会費(1月～12月)

普通会員(個人) 年額 11,000円

学生会員 年額 5,000円

会員の特典

- 有機合成化学協会誌が毎月無料で配布されます。
- 協会誌に総説、総合論文、その他を投稿することができます。
- シンポジウムで研究成果を発表することができます。
- 本会主催のシンポジウム、講習会、懇談会、講演会、有機合成化学セミナー等の各種行事に割引料金で参加でき、会員との交流を通して広い分野の情報が得られます。
- 本会研究企画賞受賞の資格が得られます。
- 普通会員は理事、監事、代議員の被選挙権を有し、選任された場合、本会運営に直接参画できます。
- 普通会員は各種委員会の委員、支部役員として各事業の企画立案にあたり、相互の知識を深め、情報の交換など有意義な活動ができます。
- 本会刊行図書を会員特価で購入できます。
- 普通会員として20年以上在籍し、年齢75歳以上の方は会費不要の永年会員に推挙されます。

公益社団法人 有機合成化学協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5
化学会館5階

TEL. 03-3292-7621 FAX. 03-3292-7622

Home page <http://www.ssocj.jp>

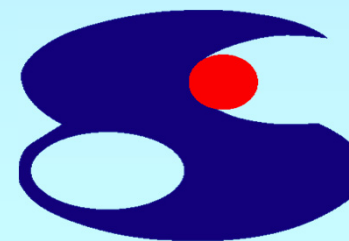
E-mail syn.org.chem@tokyo.email.ne.jp

公益社団法人

有機合成化学協会

The Society of Synthetic Organic Chemistry, Japan

入会のしおり



入会のおすすめ

本会は、工学、理学、薬学、農学、生化学、医化学などの幅広い分野にまたがる約5,400名の産・官・学に所属する会員によって支えられている学会です。

本会は、有機合成化学およびその工業技術の分野はもとより、関連する諸分野の情報交換の場を提供しています。これらの場を通じ、会員相互の交流を深めることができます。

特に、これからの有機合成化学を担う熱意ある若い方々の入会をお待ちしています。

本会のあゆみ

本会は、「有機合成化学と工業の発展」を掲げて、有機合成化学工業に関係のある軍・官・民の会員約400名の総合連絡機関として、昭和17年8月1日(1942年)に発足しました。

昭和20年(1945年)の終戦にともない、本会は現在のような学術団体に姿を変え、石油化学の発展、さらに今日の医薬・農薬・電子材料・その他ファインケミカルズなどに見られる有機合成化学工業の広範な展開に貢献してきました。

平成24年(2012年)には新公益法人制度に基づく公益社団法人となりました。同年創立70周年を迎え、会員数は約5,400名となり、工学・理学・薬学・農学・生化学・医化学などの分野で産官学を横につないで形成された複合的性格の協会に発展しています。

今後は、ニューバイオテクノロジー、エレクトロニクス、新エネルギーや環境などの技術革新に相呼応し、基礎と応用面からユニークな事業を積極的にとりあげ、本会の使命を果たしてまいります。

事業内容

■ 有機合成化学協会誌

本会の会誌です。本誌は日本で唯一の有機合成化学の二次情報専門誌として国内外に高く評価されています。総合論文、総説に重点を置き、若手研究者による「Review de Debut」欄のミニ総説、新しい合成、試薬や分析機器の紹介なども掲載しています。

収録内容も、新反応開発・有機金属化学・不斉反応・全合成など、身近な材料や創薬、プラスチックの開発に用いられる最新研究の話題を紹介しています。また、「会告」として本会の本部・支部開催の行事はもとより、関連学会の情報を提供しています。会員には無料で配布しており、会員外の方も書店で購入できます。

さらに普通会员、学生会員は本誌掲載の全ての記事がJ-Stage を介してweb 上で閲覧可能です(会員外の方は閲覧記事に制限があります)。

■ シンポジウム

本会所属の研究者の成果発表の場として、年2回(6月、11月)有機合成シンポジウムを開催しています。

ゆとりある時間を使った口頭およびポスター発表が用意されており、レベルの高い学会として広く認められています。

■ 講習会

有機合成化学および学際領域から、先端的テーマを選定し、研究者、技術者の充実した研修の場として、年2回、各2日間にわたって開催しています。

■ 懇談会

有機合成に関係ある科学、経済、政治上の問題をとらえ、その分野の著名な方々による講演と参加者との活発な討論の場として年数回開催しています。

■ 有機合成化学セミナー

海外からMukaiyama Award受賞者、Lectureship招待者などを講演者として迎え、著名な研究者や本会の奨励賞受賞者を囲み、先端的研究を共に学び、共に語り合う場として年1回開催しています。

■ 支部活動

各支部(北海道、東北、関東、東海、関西、中国・四国、九州・山口)では地域の特徴を生かして、独自にシンポジウム、講演会、講習会、見学会などを開催しています。

なお、上記の事業のほか、多数の事業を他の学協会と共催または協賛によりとり進め、幅広い層からの参加を得て内容の一層の充実をはかっています。

■ 国際交流

2002年より本会元会長である野依良治氏のノーベル化学賞受賞を記念して高砂香料国際賞「野依賞」が、2005年より同じく本会元会長である向山光昭氏の喜寿記念として「Mukaiyama Award」が、共に国際表彰事業として実施されています。

■ 表彰

毎年、有機合成化学および工業の発展に著しく貢献する科学技術上の研究を行った研究者に対し、「有機合成化学協会賞(学術的なもの、技術的なもの)」を、また、有機合成化学および工業に貢献する優れた研究を行った若手研究者に対して「有機合成化学奨励賞」を設け、表彰を行っています。

さらに有機合成化学および工業の発展のために永年にわたり著しく貢献した個人に対し、「有機合成化学特別賞」を設け、表彰を行っています。

企業の賛同を得て、出資企業名を冠した「企業冠賞」は中堅研究者の顕彰に寄与しています。

以上の賞は業績が対象ですが、会員の“優れた研究の芽”に対しても、企業の協力を得て「研究企画賞」を設けて表彰するとともに、研究助成を行っています。

このように本会は毎年合わせて50名近くの研究者個人を表彰し、産官学の研究活動を強く支援しています。

■ 出版

有機合成化学に関連する特徴ある刊行物を企画出版しています。会員は特価で購入できます。

以上の事業内容の詳細は、本会ホームページでご確認下さい。 <http://www.ssocj.jp>